

No.255

2021年
12月号

さくら

図書館だより

(編集・発行)

宿毛市立坂本図書館

〒788-0001

宿毛市中央二丁目7番14号

☎ 0880-63-2654

FAX 0880-63-0155

展示のご案内

展示期間 12月23日(木)まで

★メイン展示

『メリークリスマス』

もうすぐ、子どもたちが楽しみにしているクリスマスがやってきます。皆さん準備はお済みでしょうか。

今回の展示では、クリスマスのレシピ本や絵本を集めてみました。家族みんなで楽しいひとときをお過ごしください。



●メイン展示図書より(抜粋)

- 「かわいい! パーティースタyling・ブック」
- 「パリの小さなキッチン」「丸鶏レシピ」
- 「サンタクロースのふくろのなか」「秘密のノーム」

年末年始の休館のお知らせ

12月29日(水)から1月3日(月)まで、図書館は休館となります。その間、返却は自動ドア横の返却ポストをお願いします。

新年は1月4日(火)午前10時開館です!

★サブ展示

「新しい年を迎える」

今年も残すところあと1カ月となりました。クリスマスが終わると一気に新年の準備に取り掛からなくてはなりません。大掃除やおせち十二支に関する本を展示しています。慌ただしい年末を乗り切るため、ぜひご利用ください。

●サブ展示図書より(抜粋)

- 「美しいおせちとおもてなし正月料理」「おもち」「ばあばのおせち」「ナチュラルおそうじ大全」「開運えほん」「十二支のしんねんかい」

「図書館読書クイズ」へのご応募ありがとうございました。

全問正解者には12月中に記念品を郵送する予定です。

読み聞かせ講座のご案内

本をどのように読めばいいのかわからない、読み聞かせをしているけどもう一度基本を学びなおしたい方、大歓迎です。申し込みが必要ですので坂本図書館までご連絡下さい。

講師：中澤晴香さん、甲藤梨彩さん
(オーテピア高知図書館職員)

日時：令和4年1月15日(土) 13:30～

場所：宿毛文教センター 2階 会議室1

料金：無料

ボランティア募集!!

子どもに本の読み聞かせを行うボランティアを募集しています。子ども好きな方も初心者も大歓迎。読み聞かせが初めてで不安な方でも、安心して取り組んでいただけるよう、ベテランのサポートや養成講座も開催しています。興味のある方は坂本図書館までご連絡ください。



読んでみませんか？

-新着図書のご案内-

(一般)

焼き菓子の教科書

熊谷 裕子 著
河出書房新社

焼き菓子を作る上で欠かせない材料の一つであるバター。お菓子の種類に合わせてバターを溶かしたり、冷たいままの状態を使うなど、最適な状態に準備することが成功のポイント。

バターの性質をよく知って、ワンランク上のお菓子づくりをしてみませんか？

(一般)

戦国武将を癒した温泉 名湯・隠し湯で歴史ロマンにつかる

上永 哲矢 著
天夢人

歴史に名を遺した戦国武将たち。彼らも私たちと同じように温かい湯に心と身体を癒されていました。

骨折した独眼竜を癒した小野川温泉、歴史的資料にも記された信玄愛用の湯治場・湯村温泉、天下人が何度も通った有馬温泉など、今でも浸かれる武将ゆかりの温泉を地域ごとに武将エピソードをまじえて紹介。

歴史ファンはもちろん、日々寒くなるこの季節にぜひ読んでもらいたい一冊です。

(一般)

闇祓

辻村深月 著
角川書店

1人の転校生が濡のクラスに来てから、少しずつ周りがおかしくなり始め、身近にある名前を持たない悪意が増殖し、迫ってくる。読み進めていくと感じる恐怖が、最終章で反転する。

そこから、新たな闇へと誘う一気読みエンタテインメント。

(児童)

自然を再生させた イエローストーンのオオカミたち

キャサリン・バー 文/ジェニ・デズモンド 絵
化学同人

イエローストーンは、何千種類もの野生動物がいる世界初の国立公園。

しかし、その美しい地にオオカミはいなくなり、静まりかえってしまいました。

オオカミの復活から自然再生そして生態系のしくみなど、この一冊でいろんな事が分かります。ぜひ手に取ってみてください。

※この本の紹介文は、スタッフが書いています。

2021年のサンタクロース

松澤まり子

サンタクロースは悩んでいた。キッチンで紅茶のティーバッグを入れたマグカップに今沸かしたばかりのお湯を注ぎながら考える。今年もくじらに配達を頼もうか、どうしようか。冷蔵庫からミルクを取り出しカップに入れスプーンで混ぜ上の棚からブランデーを取りだし、ちょっぴり入れた。棚にブランデーを戻そうとして思い直し今度は多めにブランデーを紅茶に入れてスプーンでかき混ぜた。外は雪が降っているし、というのがサンタの言い訳だった。キッチンの窓から白い雪が舞うように降っているのが見えた。リモコンでTVをつけ紅茶を飲みながらしばらくサスペンスドラマを見ていると悩んでいたことはすっかり忘れてしまい、ドラマの主人公のように勇敢になり誘拐されたペンギンを救い出し南極の母親の元に届け「さすがはサンタさんだなあ」とペンギンのコロニーのみんなにばちばち拍手をされている鼻高々ないいところの夢の中にいたが、いきなりくじらの声で起こされた。

「サンタさん！何だらしく寝てるんだよ。電話しても出ないから来ちゃったよ。先週から何回もかけてるんだよ？起きてよ！」

「ああ？くじらじゃないか」

サンタは目をこすりながら寝ていたソファからのろのろと座りなおした。今日のくじらは若い男性に化けていた。ぶるっと震えて雪のついた防寒着を脱いだ。

「言われなくても座るよ！長い道のりだったんだ。太平洋を出て大西洋を渡ってきたんだよ？くじらのままで。寒かったよ」

サンタがキッチンに行っている間、くじらは部屋のあちこちに置かれている段ボール箱を眺めた。手紙がはちきれんばかりに入っていて、はみ出しているものもある。読んだ痕跡もない。いいのか？もう12月の初めなのに！サンタさんは何のんびりしているんだろう。

「長旅ご苦労さん」そう言ってサンタはくじらに紅茶を入れたマグカップを差し出した。「マフィンも昨日焼いたのがあるんだ。ブルーベリーマフィンじゃよ」

「マフィンを焼くなんてサンタさんらしくないよ。今頃、昔だったら、トナカイのソリの準備をしたり子供たちへのプレゼントの準備をしている頃じゃないですか」

「いやあ、ここ2年ほどすっかりおうち時間が身についちゃってのう。ほれ、YouTubeでレシピを見て作ったりDIYしたりしてね。このテーブルも実は作ったんじゃよ」

くじらは立ち上がり一番近くにあった段ボールを逆さにしてドサッと手紙をサンタお手製の

テーブルの上に置いた。

「この手紙を送って来てくれた子供たちにプレゼントを届けなくていいんですか。みんな楽しみに待ってますよ。それに手紙が来なくても世界中の子供たちにプレゼントをあげていたじゃないですか。去年ボク、バイトしてすごく感動しちゃいましたよ」

サンタはもじもじしながら恥ずかしそうに悩んでいたことを話し始めた。

「なかなかおうち時間の気分が抜けなくてのう。前みたいに動く気にならんのかな・・・わしもトシじゃ。またくじらに頼もうかと思っておったんじゃよ」

「今頃何言ってるんですか！」くじらはプンプンだった。「いい加減にして下さい。ほらさっさと手紙を読みましょう」

それからくじらはクリスマスイブまでサンタを手伝いプレゼントを届ける準備をした。

トナカイたちもやる気満々で鈴を鳴らしながら走りサンタとくじらはせせとプレゼントを家々に届けて行った。しかし準備する時間が少なかったのになかなか思うように運ばない。焦るばかりで夜は更けていく。

「や～無理だで」とサンタが汗をふきふき弱音を言い出した時だった。ソリの周りをキラキラとまばゆい白い光が取り巻いた。サンタとくじらはいったい何が現れたのかと目を細めて光を見つめた。光の内から声が聞こえてきた。

「今年はわたしたちもお手伝いしましょう。わたしたちは星です。みんなで協力してプレゼントを届けましょう」

「サンタさん、良かったね」くじらは嬉し涙を浮かべて叫んだ。サンタもほっとして言った。「ありがどう星々さん。助かります。よろしく頼みます」そして来年はいつものようにちゃんと準備をしようとして心に決めたのだった。

こうして何とかクリスマスプレゼントはちゃんと配られることができた。

星がたくさん流れるのを見た人々は奇跡のようだと感じた。クリスマスイブに流れ星をこんなに見るなんて。あとで人々は語り合った。鈴の音もしてなかった？

その夜、ある海峡をボートで渡っている難民たちの中に数人の子供がいた。眠っている子供たちの腕の中にはふわふわのクマのぬいぐるみがあった。また暖かい毛布がかけられていて大人たちはそれを見て誰がどこから持ってきたのかと不思議に思った。

～新着図書のご紹介～

一般図書



- 0 「父母&保育園の先生おすすめシリーズ絵本
200冊」 絵本ナビ
- 1 「10年婚活理論」 マミィ
- 2 「戦国武将を癒やした温泉」 上永哲矢
- 3 「仕事は1冊のノートで10倍差がつく」 鈴木進介
- 3 「学童ノススメ」 おおたにまさえ
- 4 「世界の美しい動物園と水族館」
パイインターナショナル
- 4 『「食べる」介護のきほん』 齋藤真由
- 5 「百万人の電気工事」 関電工
- 5 「家で編みもの」 朝日新聞出版
- 5 「魔法のおうちごはん」 あおい
- 6 「鉄道旅のトラブル対処術」 松本典久
- 7 「カラー筆ペンで楽しむはじめての絵手紙」
朝日新聞出版
- 7 「筋トレの科学」 オースティン・カレント
- 8 「高知県のことば」 上野智子
- 9 「俳句いまむかし」 坪内稔典
- 9 「月夜の森の鼻」 小池真理子
- 9 「むかしむかしあるところに、やっぱり死体が
ありました。」 青柳碧人
- 9 「ミチクサ先生」 伊集院静
- 9 『特急「志国土佐時間(トキ)の夜明けのものが
たり」での殺人』 西村京太郎
- 9 「残照の頂」 湊かなえ

※左側の数字は図書の分類を表しています。

0...総記、1...哲学、2...歴史、3...社会科学、4...自然科学
5...技術、6...産業、7...芸術、8...言語、9...文学

児童図書



- 「もしも、きみのクラスに織田信長がいたら」 真山知幸
- 「まるで魔法のような本当の話」 TERUKO
- 「理系脳をつくる食べられる実験図鑑」 中村陽子
- 「激突! アニマルキング バトル2」
ステファニー・ウォーレン・ドリマー
- 「免疫のひみつ」 山口育孝
- 「10才からの整理整とん」 梶ヶ谷陽子
- 「はじめてのやさしい」 藤田智
- 「きれいな字のひみつ」 青山浩之
- 「レッツキャンプ」 いとうみく
- 「お天気屋と封印屋」 廣嶋玲子
- 「ナイトメア・ビフォア・クリスマス」 代田亜香子

絵本



- 「クリスマスべんとう」 木坂涼
- 「ふしぎな水色のゾウ」 月ゆき
- 「ノラネコぐんだんラーメンやさん」 工藤ノリコ
- 「パンどろぼうとなぞのフランスパン」 柴田ケイコ
- 「町が生まれ森が広がる」 きむらゆういち
- 「こりすのクリスマス」 豊福まきこ
- 「しりたがりのおつきさま」 花里真希
- 「十二支はたいへんです」 梶田向省
- 「えきべんとふうけい」 マメイケダ

★このほかにもたくさんの図書が入っております。

図書館ホームページでは、月ごとの新着図書一覧を公開しておりますので、
そちらもぜひご覧ください。

12月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

1月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

開館日時 火～金 10:00～18:30 土・日 10:00～18:00

ホームページ <https://www.city.sukumo.kochi.jp/docs-25/p010805.html>

メールアドレス tosyo@city.sukumo.lg.jp

■ は休館日